



うちだっ子

重点目標 なりたい自分に チャレンジ! 【校長：田中正信】

アガパンサスの花が咲くと

昨年度まで牧之原市役所で働いていた時のことで、ちょうどこの時期の話です。

午後2時半頃にある小学校の近所の方から電話が入りました。「大事に育てていたアガパンサスの花を、小学生が傘で全部折っていった。教育委員会から学校に言ってほしい。」とかなりお怒りの声でした。電話を切り、すぐにその方のお宅に現場検証をかねて謝罪に行きました。

アガパンサスは、この時期に茎が60cmほどスーッと伸びて、その先にヒガンバナのような淡い紫色の花が咲く植物です。その方は、2年前に苗を購入して、やっと今年になって長い茎が伸び、つぼみを一斉につけ開花を楽しみにしていたのですが、無残にも6本の伸びた茎とそのつぼみが折られていました。

玄関先だったので、防犯カメラがあり、記録された映像には、グレーのランドセルを背負った2年生ぐらいの男児、緑色のキャラクターのTシャツ、青色の靴。水色の水泳バッグを左肩にかけ、黄色の傘を刀に見立てて、アガパンサスの茎を「えい!」とばかりに、何度も何度も切りつけている様子が残されていました。

そのまま私は、子供が通う学校へ行き、その子の服装等も含めた状況を教頭先生に伝えてきました。学校側は、その子の服装や持ち物、下校先から心当たりのある子をすぐに特定し、午後5時頃にはその子のお宅へ職員(担任・教頭先生)が訪問をすることとなり、私はその子のお宅で学校職員と合流をしました。

お母さんと一緒に玄関から出てきた子の服装と顔を見て私は「あっ、動画の子だ!」と、100%の確信。担任は「今日の帰りに、このお花を傘で折ってしまったことで、先生達は〇〇さんのお家に来ただけだ。覚えているかな。」という、「えーっと、その花は知らない。」お母さんは「え?うちの子がやったのですか。証拠があるのですか。」と、不服そうな顔。

そこで、お借りしてきた動画を見せると母親は納得し、子供に向かって「正直に言ってくれなかったことに、お母さんは悲しい。」と言ってポロポロと涙を流し始め、被害にあったお宅の住所を聞き、すぐさま子供とともに謝罪に行きました。

実は担任は、当初から動画を見せるべきかと悩んでいたのですが、子供が正直に認めることを願って動画を後から見せるという判断をしました。この判断が、結果として母親を苦しめてしまったのかもしれませんが、ただ、母親も担任も正直に言ってほしかった気持ちは同じです。

アガパンサスのお宅で、母親とともに頭を下げた男の子は、母親の姿を見てどう感じたのでしょうか。また、動画を見終えた母親の「悲しい」と言った一言を、どのように受け止めたのでしょうか。

もう、3年も前のことですが、アガパンサスの花を見ると、あの時の母親の涙を思い出します。

